国立国語研究所学術情報リポジトリ

プロジェクトの概要

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2019-11-29 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002448

プロジェクトの概要

1　プロジェクトの目的

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」は，国立国語研究所の基幹型共同研究プロジェクトとして2009年にスタートしました。プロジェクトの目的は以下のとおりです。

グローバル化が進む中，世界中の少数言語が消滅の危機に瀕している。2009年2月のユネスコの発表によると，日本語方言の中では，沖縄県のほぼ全域の方言，鹿児島県の奄美方言，東京都の八丈方言が危険な状態にあるとされている。これらの危機方言は，他の方言ではすでに失われてしまった古代日本語の特徴や，他の方言とは異なる言語システムを有している場合が多く，一地域の方言研究だけでなく，歴史言語学，一般言語学の面でも高い価値を持っている。また，これらの方言では，小さな集落ごとに方言が違っている場合が多く，バリエーションがどのように形成されたか，という点でも注目される。

本プロジェクトでは，フィールドワークに実績を持つ全国の研究者を組織して，これら危機方言の調査を行い，その特徴を明らかにすると同時に，言語の多様性形成のプロセスや言語の一般特性の解明にあたる。また，方言を映像や音声で記録・保存し，それらを一般公開することにより，危機方言の記録・保存・普及を行う。

（国立国語研究所ホームページより）

2　これまでの調査

2010年度から2015年度までの6年間に11回の調査を行いました。その概要は次のとおりです。★については，報告書をウェブで公開しています。また，☆については基礎語彙の音声をウェブで公開しています。

・鹿児島県喜界島方言（奄美語）	2010年9月9日～15日	★　☆
・沖縄県宮古方言（宮古語）	2011年9月4日～7日	★
・東京都八丈島方言（八丈語）	2012年9月5日～10日	★　☆
・鹿児島県与論島方言・沖永良部島方言（国頭語）	2012年12月1日～6日	★　☆
・沖縄県久米島方言（沖縄語）	2013年12月1日～5日	
・島根県出雲方言	2014年8月17日～21日	★
・宮崎県椎葉村（尾手納・日当）方言	2014年9月1日～6日	
・宮崎県椎葉村（日添）方言	2015年3月9日～13日	
・宮崎県椎葉村（小崎）方言	2015年5月8日～11日	
・宮崎県椎葉村（栂尾）方言	2015年9月6日～11日	
・島根県隠岐の島方言	2015年11月8日～11日	

３　共同研究者

プロジェクトの共同研究員は以下のとおりです。（2016年２月１日現在）

研究代表者：木部暢子（国立国語研究所）
共同研究員：五十嵐陽介（一橋大学），井上文子（国立国語研究所），ウエイン・ローレンス（オークランド大学），上野善道（東京大学名誉教授），大西拓一郎（国立国語研究所），小川晋史（熊本県立大学），荻野千砂子（福岡教育大学），金田章宏（千葉大学），狩俣繁久（琉球大学），久保智之（九州大学），久保薗愛（愛知県立大学），窪薗晴夫（国立国語研究所），熊谷康雄（国立国語研究所），クリス・デイビス（琉球大学），小西いずみ（広島大学），小林隆（東北大学），佐々木冠（札幌学院大学），重野裕美（広島経済大学），下地賀代子（沖縄国際大学），下地理則（九州大学），田窪行則（京都大学），竹田晃子（国立国語研究所），ダニエル・ロング（首都大学東京），トマ・ペラール（フランス国立科学研究所），中島由美（一橋大学），仲原穣（琉球大学），西岡敏（沖縄国際大学），新田哲夫（金沢大学），日高水穂（関西大学），ブガエワ・アンナ（国立国語研究所），又吉里美（岡山大学），町博光（安田女子大学），松浦年男（北星学園大学），松田美香（別府大学），松本泰丈（別府大学），松森晶子（日本女子大学），三井はるみ（国立国語研究所），山田真寛（京都大学）（五十音順）
プロジェクト研究員：乙武香里（プロジェクト PD），坂井美日（プロジェクト PD），盛思超（プロジェクト非常勤研究員）